

新型コロナ/感染症対策！小売業向け非接触モバイルオーダープラットフォーム「Bopis Cloud」の販売を開始

ロッカー、AI、ECと連携し、“ネット注文～店舗外受取”の仕組みを簡単に実現

iXIT株式会社（所在地：東京都世田谷区、代表取締役社長：中井川 俊一、以下「イグジット」）は、株式会社ジーエルシー（所在地：東京都港区、代表取締役：金子 裕輔、以下「ジーエルシー」）、と共同で開発した、新型コロナウイルスの感染拡大を受け急増する非密集・非接触需要に対応するソリューションとして、小売業界向けモバイルオーダープラットフォーム「Bopis Cloud」の販売を開始致しました。

【本件のポイント】

- BOPISとは、Buy Online Pickup In Storeの略で、ネットで注文し、店舗で受取るサービス
- 新型コロナの流行を背景に、非密集・非接触を重要視する消費者マインドへの変化
- 宅配ロッカー業界No.1のフルタイムシステムのロッカーと連携可能
- AIチャットボットやデジタルサイネージなどシーンに併せて多種多様なソリューションと連携可能



新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響を受け、生活必需品を販売するスーパー、ドラッグストアなど小売店舗は、接触防止や混雑緩和の措置を実施しながら営業を継続しておりますが、接触・密集を避けようとする傾向は当面の間継続するものと予想されます。かねてよりBOPISに先行して取り組んできた世界最大のスーパーマーケットチェーン、米・ウォルマートでは、EC用のモバイルアプリ、ウォルマート・グローサリーのダウンロード数が2020年4月に過去最高を記録しました（※1）。

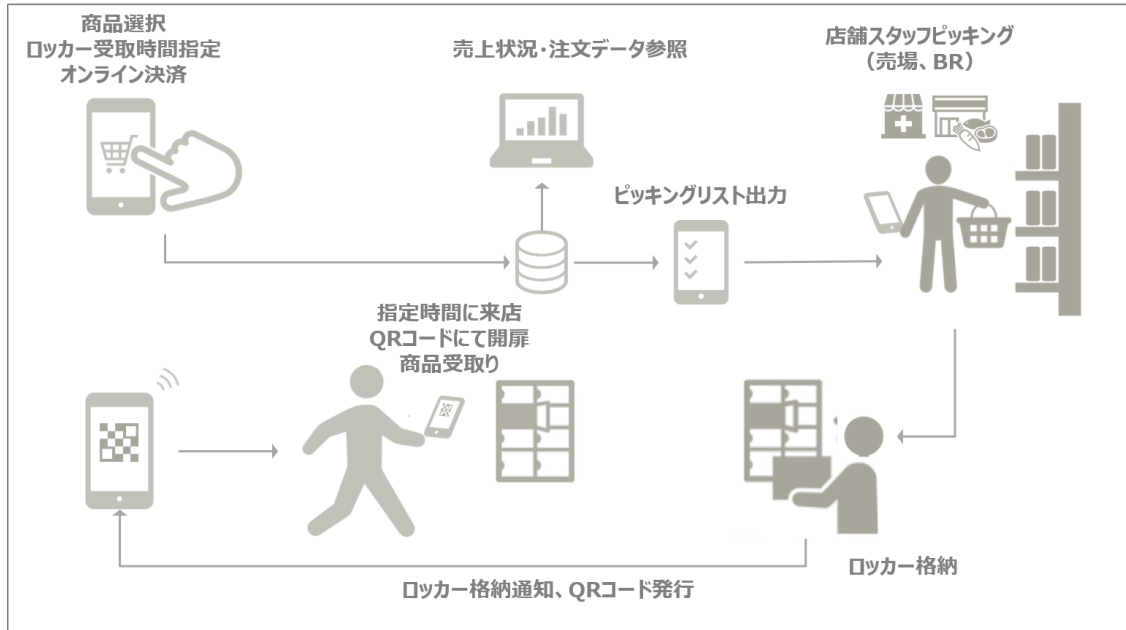
このたび、「Bopis Cloud」として小売業界向けモバイルオーダープラットフォームをリリースし、急増する非対面サービス需要への対応を支援するとともに、労働人口の減少を背景に深刻な労働力不足の課題を抱える小売業のデジタルトランスフォーメーションの支援を強化してまいります。

（※1）出典：<https://jp.techcrunch.com/2020/04/11/2020-04-09-walmart-grocery-app-sees-record-downloads-amid-covid-19-surpasses-amazon-by-20/>

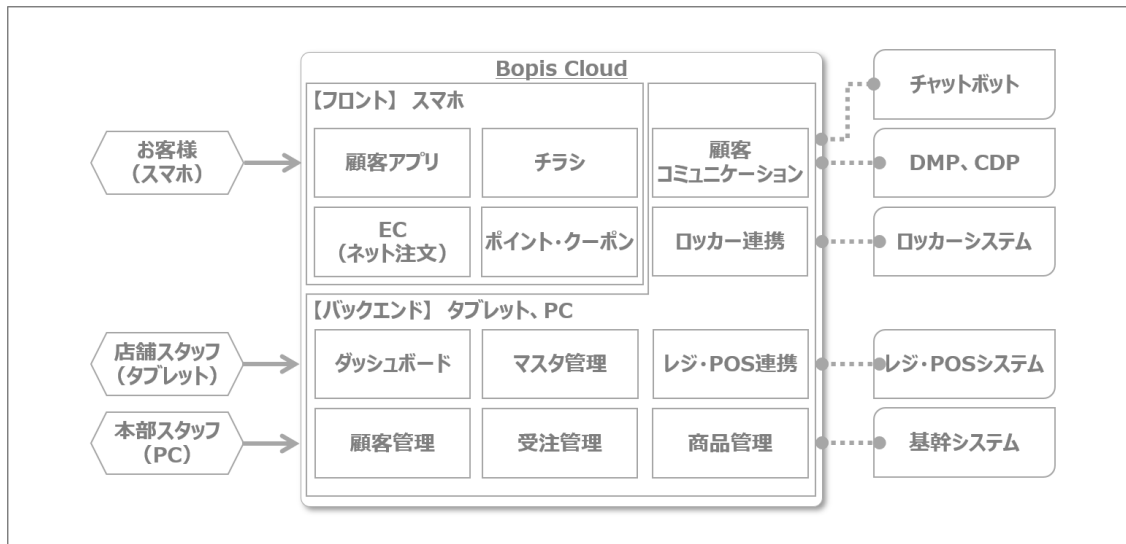
【「Bopis Cloud」の概要】

「Bopis Cloud」は、BOPIS導入・実現のための、システムプラットフォームです。モバイルオーダーに必要な機能をワンストップで提供し、レジ・POS、ロッカー、AIチャットボット等の周辺システムとも連携可能で、現行システムを活かす形での導入が可能です。

[運用イメージ]



[提供機能概要]



【店舗・小売視点のメリット】

・省人化、省スペース化による収益改善

- 小売業の収支構造は、粗利を、人件費と不動産費が食いつぶしてしまいます。今後、労働人口減少に伴う、人員確保が困難になることへの対策としての省人化ソリューションとしても、売場面積の削減を前提した省スペース化ソリューションとしても、小売業の収益改善に貢献可能です。最低賃金は近年上昇傾向にあり、2030年には時給ベースの実質賃金が2017年より8割増加し2,030円となる推測もあります（※2）。

・データ蓄積・活用

- 新型コロナウイルスの世界的な流行により、これまで現金でしか買い物をしなかった顧客が、ECを利用する傾向はより一層高まっています。これまで現金しか利用せず、ID-POS連携が困難だった顧客が、プラットフォーム上でのことで、より多くの顧客データの蓄積がなされ、チャットボット、DMP、CDP等も活用することで、One to Oneマーケティングをより効果的に行うことが可能になります。

【顧客視点のメリット】

・買い物の時短、当日受取り

- BOPISが導入された店舗では、必要な商品を、手元のスマホアプリで、隙間時間で購入し、当日、指定した時間での受取りが可能です。商品探索時間、買い回り時間、レジ待ち時間など、買い物に関わる時間を削減できるだけでなく、送料の節約にもなります。

・接触、密集の回避

- 対面販売を前提とした小売店舗では、例えば、以下等、様々な箇所に感染リスクが潜んでいます。顧客だけでなく、従業員も可能なら、店舗には行きたくないという価値観への変化が今後発生すると想定されます。

- ① 賞味期限を確認するために触った商品を媒介とした感染リスク
- ② 対面レジでの店員の商品接触を介した感染リスク
- ③ 現金を媒介とした感染リスク
- ④ レジ待ち行列におけるクラスター発生リスク

(※2) パーソル総合研究所：<https://rc.persol-group.co.jp/roudou2030/>

【多様な連携によるカスタマーエクスペリエンスの向上】

「Bopis Cloud」は、各種ソリューションとの連携を行うことが可能です。

各クライアント様に併せた適切なソリューションを導入することで、サービスレベルを最大限まで引き上げます。

■ “ネット注文・店舗受取”を実現する、フルタイムシステム社FOODロッカーとの連携

宅配ロッカー業界No.1の株式会社フルタイムシステムのロッカーシステムと、「Bopis Cloud」を連携させ、都内の食品スーパーマーケットにて商品受取ロッカーサービスを展開してきました。こうした事例をもとに、小売業向けの“ネット注文・店舗受取”サービスの構築支援を強化してまいります。



■ “一気通貫したお客様のサポート”を実現するAIチャットボットやデジタルサイネージとの連携

利用者のお問い合わせサポートを自動で行える当社の多言語AIコンシェルシステムと連携が可能です。当システムはAIチャットボットとWEBやサイネージを組み合わせ、SNS、モバイル、デジタルサイネージ上などありとあらゆるデバイスで、いつでもどこでもお客様とテキストや音声での自動応答が可能です。店舗営業での様々なシーンにご活用いただけます。



◆当社の多言語AIコンシェルシステムとの連携メリット

- ① 売場や商品の在庫情報の自動応答
- ② 店舗内外にデジタルサイネージを設置することで、お客様と従業員の接触を必要最低限に抑制
- ③ スマートフォンやSNS公式アカウントへのチラシやクーポンのPUSH通知
- ④ AIとの会話内容や履歴を活用した顧客マーケティング
- ⑤ 周辺地域の外国人居住者の取り込み、サポート

当社の多言語AIコンシェルシステムのご紹介

<https://www.ixit.co.jp/service/chatbot>

【サービス導入支援に関して】

イグジットとジーエルシーが提携することで、大手外資系コンサルティングファーム出身者が、サービスの企画構想から周辺システムとの連携テスト等、「Bopis Cloud」導入に際して、必要となる検討、作業を全方位でご支援し、確実なサービス立上げを実現致します。

【i X I T株式会社 会社概要】

会社名：i X I T株式会社（イグジット）（英文表記：i X I T Corporation）

事業所所在地：東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー

設立：2014年4月

資本金：4.1億円

代表者：代表取締役社長 中井川 俊一

事業内容：コンテンツ&ソリューション事業（コンテンツ配信、システム開発、インターネット広告等）およびこれに付随関連する事業

URL：<http://www.ixit.co.jp/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000151.000011240.html>

イグジット株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/11240

【報道関係お問い合わせ先】

< i X I T株式会社・本リリースに関するお問い合わせ >

i X I T株式会社 i - B i z 局：佐藤・齋藤

[TEL] 03-5779-5068 / [MAIL] ixit-shinki@ixit.co.jp